

# ◆Windows7(64ビット版)でInternetExplorer8(64ビット版)またはInternetExplorer9(64ビット版)をご利用における有効期限切れの電子認証の更新手順

Windows7(64ビット版)でInternetExplorer8(64ビット版)またはInternetExplorer9(64ビット版)では有効期限切れの電子証明書の更新はできません。InternetExplorer8(32ビット版)またはInternetExplorer9(32ビット版)を起動することで、有効期限切れ後1年以内であれば電子証明書の更新が可能になります。

以下の手順にしたがってInternetExplorer8(32ビット版)またはInternetExplorer9(32ビット版)を起動し、更新操作を行ってください。

## (1)InternetExplorerを起動する

①スタート→すべてのプログラムからInternetExplorerを起動します。



InternetExplorer(64ビット版)の判別方法  
32ビット版と64ビット版のどちらのInternetExplorerを使用しているか確認するには、次の手順にしたがってください。

- a. InternetExplorer を起動します。
- b. 画面上部の「ヘルプ」をクリックします。
- c. 「バージョン情報」を選択します。
- d. InternetExplorer のバージョンが「64-bit Edition」

と表示された場合、お使いのInternetExplorerは64ビット版です。それ以外の場合は32ビット版です。

例)InternetExplorer8(64ビット版)



❗ InternetExplorer8(64ビット版)またはInternetExplorer9(64ビット版)から起動した場合、「有効期限切れ後の更新はこちら」ボタンをクリック後に“更新プログラムの自動インストール・実行エラー”(下記画面)が表示されます。

当エラーが表示された場合は、InternetExplorer8(32ビット版)またはInternetExplorer9(32ビット版)を起動し、更新操作を行ってください。



以降の手順は「◆有効期限切れの電子認証の更新手順」と同様になります。